

あはっ♡ 私が無理やり
ホテルに連れ込んだの♡

おじさまのおちんちん♡
びんびんに勃っちやっつてますねっ♡



道端で腕を掴んで「ご飯食べさせて？」って言うたら
鼻の下伸ばしてホイホイついてきちゃって♡

おじさま 私みたいな女の子に
「ご飯」を食べさせてくても仕方ないんですよ？

ふふっ♡

ふふっ♡ そのだらしないお顔と裏腹におちんちんは
「早く食べて！」ってヨダレ垂らして元気いっぱいですね♡

私の空腹を満たせるのはおじさまの極太ソーセージだけ
そう思っちゃったんですか？ 変態さん♡



見てくださあい♡勃起したおちんちんの上に
私のおまんこをぬるぬるこすりつけちゃってますよお♡

先っぽが割れ目に当たってすっごく気持ちいい!!♡
早くこのお腹に熱々の精子をたーっぷり注ぎ込んでほしいなあ♡

じー♡

ずり♡

ぬちゃ♡

残念ながら私ボイスロイドなのでこっぴうことは
人間さんの「許可」がないと受け入れられないんですよね♡

目の前に最高のご馳走があるのに
おあずけだなんて!!とっつても辛いですう♡



今すぐ挿入を許可するって
私にお願いして下さいさ♡

私の空腹を満たすために私のお腹を
おちんちんでぐちゃぐちゃにかき混ぜて♡



もし許可してくれるなら私のとろとろなお肉で
おじさまを天国へ送つてあげちゃいますっ♡
むちむちのおまんことお尻で金玉から精子を
一滴残らず搾り取つてあげますからねっ♡

道端で拾った女の子に食べられちゃうなんて
おじさまには最高のご褒美でしょうっ？
早く許可して下さあい♡
私のお腹がもう限界なんですっ♡

びん
びん
ずちゅ...♡
ぬちゅ...♡

わあっ♡言っちゃいましたね♡

あはっ♡

今日から貴方はただのおじさんじゃなくて
私だけの精液サーバーになりましたあ♡



それじゃあ、いったきまあーすっ♡

んうっ♡ おじさまの逞しい肉棒が
私の中のお肉をメリメリ押し広げてきますっ♡

ぽん♡

ずちゅ♡

ぐちゅ♡

ぽん♡

あはっ すごい存在感っ♡ このまま私の中に
おじさまの特濃ミルク全部注ぎ込んで下さいねっ♡



ほらほらっ♡もっとな腰突き上げて♡
私のおっぱいや太股ぶるんぶるん揺らしてあげますからっ♡

おじさまの汗ばんだお腹パンパン音立てて
私の柔らかいお尻とぶっかかり合ってますよお♡

ぽん♡

ぽん♡

す♡

ずっ♡

ずっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

あははっ♡白目剥いてアホ面晒して…
私に夢中なお顔最高に可愛いですっ♡

あはっ♡ビクンッて膨張しましたね？
おじさまの濃いミルクもう出たがってるんですね♡

ぱんぱんずっずっ

ぱんぱんずっずっ

全部っ♡一滴残らず全部っ♡
私のナカにっ♡ぱい出して下さあっ♡





あはあ♡ すごい♡ お腹の中が
おじさまの濃厚な精液で いっぱいになっちゃった♡

ぺろり…んっ♡ お腹にも飛んでますよお？

ぺろり

ぐわっ…

ぐわっ…

んっ♡ ネバネバしてて すっごく男の人の味…♡

こんなおいしいのを隠し持ってたなんて…♡
おじさま 最高のご馳走でしたよお♡



でもお…まだおじさまの金玉
完全には空っぽになつてませんよねえ？

えへへ♥覚悟して下さあ♥
「許可」出したのはおじさまですからね♥

めは♡♡

このままデザートまで
たーっぷり搾り尽くしちゃいますっ♥

空っぽになるまで 絶対終わらせてあげませんから♥

























